

日本カノマックス株式会社

独創と革新で 計測の未来を創造



- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- オンライン技術
- メイドインジャパン

業務内容
各種計測機器の開発と計測ソリューションを提供

気流や水流などの流れと、目に見えない微粒子を精密に計測する技術を基盤に、最良の計測ソリューションを提供する。風速計の代名詞ともなり国内トップシェアを誇る「アネモマスター風速計」をはじめ、気流、温湿度、有害ガス、浮遊粉塵、騒音、VOC（揮発性有機化合物）などの計測器・システム、ナノ単位の微粒子を精密に捉えるモニタリングシステムなどを、自動車、家電、建築などの産業向けに販売する。また大学を初め官民研究機関には、最先端の流体計測システム、微粒子計測機器、質量分析計などを提供する。

強み 日本と中国に 風洞設備を完備

温度を変えて風速試験が行える温度可変風洞をはじめ、毎秒0・05mから2・5mまでの微風速域の風速試験が行える低速風洞、毎秒50mまでの高速風洞、400℃までの高温域での風速校正を行う高温風洞など4つの風洞設備を、本社と中国子会社に保有する。風温が変化しても安定した風速測定が行える温度補償機能を持つ熱式風速計のほか、0・1mm以下の超微粒子の検出を容易にするため、アルコール蒸気によって凝縮成



本社

長・粗大化させるユニークな技術などを保有する。

技術開発力 専門の技術者を抱え すべてを自社開発

アナログ回路、デジタル回路、ソフトウェア、機構設計など精密計測機器の開発に必要な技術分野に専門性の高い技術者を抱え、日中で開発できる。ブラックカーボンモニター、微粒子質量分析装置など、海外を含めた産官学共同研究に基づいた先端計測技術領域での開発実績も豊富にある。産業用では新素材など今後成長が期待される分野への参入を目指す。微粒子や細菌など捕捉・計測するコンタミネーション分野にも力を入れ、バイオ汚染ウイルス計測など、医療分野へも販路を拡げる。

今後の展望 4領域で世界トップ シェアを目指す

平成25年7月に中期3カ年計画をスタートした。現在は日本と中国に生産拠点を持つが、将来は日本、アジア、米州、欧州の4極体制として、最適な資源配分で最高の競争力を持つものづくり体制を作り上げる。室内環境・産業気流試験・粒子計測・質量分析の4つの事業領域で世界シェアトップの製品を提供する考え。アジア地域ではシンガポール、欧州では英国やベネルクス3国に、拠点の整備を検討する。計測機器事業は販売後のアフターサービスが大切で、加野稔社長は「精度を確保するためのトレーサビリティなどをサービスのプロフェッショナルを目指す」と語る。

COMPANY PROFILE 日本カノマックス株式会社

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

昭和9年、創業者である加野五郎が「加野研究所」を創立、主に京都大学各教室の特殊精密電気計測装置の委託、研究、製作を始めた。昭和26年に精密電気計測器の研究、開発、製造、販売を目的とした「日本科学工業」を設立、「アネモマスター風速計」を発売した。その後大気汚染公害などの環境計測分野に進出し、流体・粒子・環境計測の領域に製品を提供する。平成10年には製販分離していた「日本カノマックス」と経営統合し、その後米団法人の設立、中国合弁会社の独資化など、グローバル展開を推進しています。

研究から製品開発・生産設計まで、
すべてのプロセスを自社で行うことができます。

代表取締役会長兼CEO 加野稔さん



■主な事業内容
風速計をはじめ流体・粒子・環境計測機器、先端計測事業

■主な取引先(納入先)
自動車メーカー、大学など研究機関、精密機器リース、半導体メーカー、空調設備、製薬・バイオ関連製造業

住所/〒565-0805
吹田市清水2-1
TEL/06-6877-0444
FAX/06-6879-2080
創業/昭和9年3月
設立/昭和26年6月
資本金/9,750万円
従業員/124名

<http://www.kanomax.co.jp/>